

◇ニューサークルだより

「新年を雪の比良山に遊んで」

布引支部 J.I (感想)

一王山支部 G.N J.N (写真)

平成 28 年の夏、布引支部に入会させて頂いたニュー乙女隊?・・・7 名の内の 1 乙女?です。体調管理のために始めた軽ハイキングの中で、たまたま出会った「ヒヨコ」と言う、かわいらしく、女性にとっては大変親しみやすいネーミングに魅かれての入会でした。ところが他のニュー乙女隊の入会動機は、「あこがれの六甲全山縦走が目標!」であることが判明し、これはオチオチしておれない!・・・と心機一転、真剣に歩きだしたという、か弱きヒヨコなのです。

1 年半を経過した現在、ニューサークルメンバーの皆さんとは多くの楽しい行事や山歩きを通じて親しくして頂き、青春?を楽しんでおります。

新年を迎えて間もない 1 月 6 日 (土)、年末から楽しみにしていた雪の比良山登山へ参加させて頂きました。男性 5 名、女性 6 名、計 11 名の登山隊です!青春 18 キップを利用する為、乗車は三宮出発班と大阪出発班に分かれ、同じ列車で合流するなど、準備万端のスタートでした。



余裕の中村夫妻で～す!

過日 (2 日)、吉野会長と下見がてらに行っておられた中村ご夫婦は、雪山の経験がほとんど無い

私を含めた他のニュー乙女隊の様に、不安な気持ちは全然無い様子で、いたって落ち着いたもの。



「2 日より雪多いよ!」「嬉しいね!」

私は比良駅を降りて歩きだしても、不安さは拭いきれませんでした。しかしそこは若い乙女達!純白の雪を見た瞬間、そんな気持ちは何処へやら・・・!NHKの朝ドラ「わろてんか」に負けぬぐらい、笑顔、笑顔の女子隊に変身しました。



雪中行軍するヒヨコニューサークル隊

イン谷口にある登山管理の為に小さな小屋に登山届を提出し、ここからが本番開始とのこと。

以前はここまで定期バスが入り、山上にあったスキー場に行くスキーヤーで大変賑わっていたと説明を受けましたが、そんな面影は全くありませんでした。

直進・青ガレ/金糞峠、右・カモシカ台/北比良峠の標識のある大山口と言う分岐でコーヒータム！・・雪の中で味わうコーヒーの味はインスタントといえども又格別なものでした！



正面谷コースを二分する分岐点・大山口

「時間と積雪量の関係で、金糞峠までは無理だろうが、青ガレの下までは進んでみよう！」との吉野会長の判断で、踏み固めてくれながら進む男性隊員の後をついて行きます。



積雪量がだんだん増えてきました！



釈迦岳側の稜線上に青空がのぞいたよ！

普段歩く六甲や摩耶山と違い、一面の銀世界でしかもまったく人のいない幻想的な風景に感動し、疲れはまったく感じませんでした。雪崩のおきそうな場所をすばやく通りすぎ、堂満ルンゼに入る入口下と言う場所で休憩に入りました。この場所にザックを置いてアイゼン着用の指示が出たので緊張しながら装着しました。



休憩に入りアイゼン着用の指示で装着する隊員



雪の中では素早い行動が出来るように！

この場所までアイゼン無しで来れたのは、積雪の量が多かったのと、新雪で足掛かりが良かったおかげでした。しかし、下りは滑る可能性大との判断からこの場所で装着指示を出されたと聞き、有難いことだと思いました。



青ガシの登り口（右の沢を渡る）。急な登り！

そこから青ガシの登り口まではほんの3分程でした。予定の時間はここまで。元の場所へ戻り、昼食を手短かに取って下山に係りました・・・。



比良山最高！ 満足満足！！・・・の面々

帰路に立ち寄った温泉施設「比良とぴあ」は、湯よし、湯上りの〇〇良しで最高！！そして、湖西線の列車内での盛り上がりで大変楽しい雪山体験登山はTHE END！となりました。